



2024年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社 キャリア インデックス
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 板 倉 広 高
(コード番号：6538 スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役 CFO 齋 藤 武 人
(TEL 03-6161-6390)

特別損失の計上及び業績予想との差異に関するお知らせ

2024年3月期において、下記の特別損失の計上を行うとともに、2024年2月13日に公表した2024年3月期の業績予想と下記の通り差異が発生しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、世の中のDX化が進む中、当社のDX事業を強化するために、主にDXコンサルティング事業を行う株式会社Sales X（以下、「Sales X」という。）をM&Aにより子会社化いたしました。しかしながら、M&A時に想定していなかった解約及び予算の減少が重なり、また短期間でのコスト構造の改善ができず、M&A時の事業計画との乖離が短期間で大きくなる状況となりました。このため、直近の業績は落ち着いてまいりましたが、今後の事業計画を慎重に見直した結果、早期業績回復は不確実性が高く、回収可能性は難しいと判断し、全額を減損損失として特別損失に計上しております。

また、2022年11月に買収（2022年12月に吸収合併）した株式会社ユースラッシュ（以下、「ユースラッシュ」という。）については、世の中のフレキシブルオフィスの需要は堅調であるものの、海外での大手フレキシブルオフィス運営企業の業績不振の影響もあり、売上高を伸ばすことができず、特に直近においては利益を出すこともできておりません。この様な状況から、M&A時の事業計画を下回る見込みであり、早期業績回復は不確実性が高く、回収可能性は難しいと判断し、全額を減損損失として特別損失に計上しております。

Sales X及びユースラッシュについては、今回、減損損失の計上に至っておりますが、早期業績回復を目指すべく、各対策を進めております。Sales Xでは営業の強化により売上高が増加傾向となり、また、コスト構造の改善も進み、一定の成果が出始めております。

ユースラッシュでは、営業開拓により新規取引先の増加を進めるとともに、過去の取引先の掘り起こしによる売上高拡大を進めるとともに、蓄積されているデータベースを活用した収益モデルも模索しております。

なお、各特別損失の計上額は下記となります。

対象資産グループ	種類	金額
Sales X	顧客関連資産	572 百万円
	のれん	496 百万円
ユースラッシュ	顧客関連資産	363 百万円
	のれん	274 百万円
合計		1,706 百万円

2. 業績予想との差異について

2024年3月期業績予想との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失	1株当たり当期純損失（円）
前回発表予想（A）	3,700	54	51	△132	△6.47
今回修正予想（B）	3,767	65	66	△1,601	△78.70
増減額（B－A）	67	11	15	△1,469	
増減率（%）	1.8	21.0	30.2	－	
（ご参考）前期実績（2023年3月期）	3,343	533	525	262	12.72

【予想と差異の理由】

売上高につきましては、業績予想と大きな乖離は無く、想定通りとなりましたが、営業利益及び経常利益につきましては、売上高が伸びたことにより増加し、想定を上回る結果となりました。一方で、親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、「1. 特別損失の計上について」に記載の通り、減損損失が発生したことにより、差異が生じ、業績予想を下回る結果となりました。

以上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。